



男子の部

川内さんが2連覇

2時間18分58秒でゴール!



女子は松村さん優勝

2時間41分12秒

トップでゴールする男子の部・川内さん（右）と女子の部・松村さん＝松阪市山下町の総合運動公園で

■男子の部で優勝した川内さんのコメント
「優勝は当然で大会記録更新を目標にしていましたが、風が強くて更新できなかったのが少し残念です。沿道では去年以上ののぼり旗や声援の応援があり、うれしかったです。通算50回目のフルマラソン優勝だったので記念になりました」

■女子の部で優勝した松村さんのコメント
「最後の激坂が予想以上にきつかったですが、応援が後押ししてくれました。所々アップダウンもあり疲れもありましたが、プロジェクトマップのトンネルを通ったら元気が出ました。スタートからゴールまで自分の走りができました」

マラソン男子の部

順位	名前	住所	タイム
1	川内 優輝		2:18:58
2	友森 敬一郎	山口県	2:26:35
3	山地 伸哉	三重県	2:27:00
4	柴田 憲志	愛知県	2:29:04
5	新田 雄大	三重県	2:29:29
6	増田 勇太	神奈川県	2:29:41
7	秋野 僚太	北海道	2:30:02
8	平岩 篤弥	愛知県	2:30:31

女子の部

1	松村 幸栄		2:41:12
2	中村 瑠花	愛知県	2:52:32
3	上野 智賀	三重県	2:53:55
4	松井 恵里奈	愛知県	2:54:37
5	吉川 マユミ	福井県	2:55:42
6	門 成美	三重県	2:58:12
7	加藤 真奈美	愛知県	2:59:22
8	関 侑華	東京都	3:00:06

みえ松阪マラソン実行委員会
(大会長 川井町 真入 松阪市長)
は17日午前9時から、第2回となるフルマラソン大会「みえ松阪マラソン2023」を松阪市内を巡るコースで開き、男子は川内優輝選手(招待選手)が2時間18分58秒で連覇、女子は松村幸栄選手(招待選手)が2時間41分12秒のタイムで優勝した。

大会は川井町のクラギ文化ホール(松阪市民文化会館)前をスタートし、山下町の市総合運動公園をゴールとする日本陸上競技連盟、WA/AIMS公認コースで開催。本年度からは三重陸上競技協会主催陸上競技選手権大会のフルマラソン種目(三重陸協登録者対象)も兼ねる。

この日は3部門に全国各地から8897人がエントリー。強い風の中のレースで、ゴール手前の名物「激坂」では逆風にランナーたちは最後の力を振り絞って完走した。沿道には多くの市民が集まり、ランナーたちに熱い声援を送った。

心臓破りの坂で応援

ファンラン、応援幕などで盛り上げ

ゴール地点となった市総合運動公園では、早朝から運営スタッフや市内外からのボランティアが駆け付け、中、「ファンランの部」(5キロ)への出場選手たちが徐々にスタート地点に集結し会場は盛り上がりを見せた。

午前10時、スターターの永作友寛副市長の合図で一斉にスタートしたランナーたちは榎田川沿いを軽快に走りフィニッシュ。男子は愛知県の山田来夢選手、女子は三重県の稲葉恵里子選手がトップでゴールした。

ゴール直前に待ち構える心臓破りの坂では、市内中学校が「ナイスラン 頑張っ て」「駆け抜けろ」などのメッセージを添えた応援幕を掲げ、「駆け昇れ」などのボードを持った松阪北部商工会青年部



午前9時の号砲で一斉にスタートするフルマラソンの部の選手たち
=松阪市川井町で



松阪駅前の折り返し地点で
=京町から



松坂城跡をバックに市役所前を疾走=殿町で



中心商店街を駆け抜けるランナーたち=中町で

で構成する地域見守り隊「商工戦隊赤レンジャー」の等身大人形も並べ、ランナーを出迎えた。

フルマラソンのゴールでは、ゲストの瀬古利彦さんと野口みずきさんが、続々とフィニッシュする選手たちを出迎え



フルマラソンの部スタート動画はこちら

5キロの部

男子の部	順位	名前	住所・所属	タイム
	1	山田 来夢	愛知県・名古屋経済大学高蔵高校	0:16:39
	2	奥村 琉仁	三重県・津東	0:17:03
	3	嘉流 弘祥	愛知県・愛知医科大学病院	0:17:04
	4	石井 航平	三重県・△ミサイル	0:17:42
	5	高橋 賢治	三重県・たかけん	0:18:10
	6	岡村 大樹	奈良県・鴻ノ池SC	0:18:25
	7	金子 拓磨	三重県	0:18:37
	8	岡田 庄平	愛知県	0:18:39

女子の部	順位	名前	住所・所属	タイム
	1	稲葉 恵里子	三重県	0:19:55
	2	寺尾 あや子	三重県	0:21:57
	3	伊藤 虹幸	三重県	0:22:18
	4	堀木 温子	三重県・伊勢市立港中学校	0:22:32
	5	六谷 天音	三重県・津東高校	0:22:38
	6	出口 誉子	三重県	0:22:48
	7	山川 晶子	三重県	0:23:05
	8	山田 わか奈	愛知県・横山興業株式会社	0:23:36

ファンラン(5キロ) 山田さん(男子)、稲葉さん(女子) V



今年新設されたファンラン(5キロ)を男子1位でゴールした山田さん(左写真)は「強い人たちが出ているイメージがあったけど、その中で優勝できて良かった」、女子1位の稲葉さんは「とにかく最後まで向かい風が大変でした。来年も短い距離で頑張りたいと思います」と話した。



企業のブースが並ぶ会場で一緒に盛り上げる
ちゃちゃもたち



フルマラソンを走り終わって大会のタオルを広げて記念撮影する選手たち。いずれも山下町の総合運動公園で

大会ゲスト

瀬古 利彦さん



1956年7月15日生まれ、三重県出身。名実ともに日本長距離界、マラソンブームを牽引してきた第一人者。現役時代は国内外のマラソンで戦績15戦10勝。圧倒的な強さを誇る。ロサンゼルス五輪、ソウル五輪男子マラソン日本代表。現役引退後は指導者の道に進み、オリンピック選手を3名輩出するなど後進の育成に注力した。現在は「横浜DeNAランニングクラブ エグゼクティブアドバイザー」として活動中。

野口 みずきさん



1978年7月3日生まれ、三重県出身。2002年名古屋国際女子マラソンで初マラソン初優勝を飾り、03年パリ世界選手権で銀メダルを獲得し、五輪代表に内定。2004年アテネ五輪女子マラソンで金メダルを獲得し、2大会連続の日本人金メダルをもたらす。2005年ベルリンマラソンでアジア記録、日本記録(2時間19分12秒)を更新して優勝。東京五輪の日本人最初の聖火ランナーを務める。